



～笑顔＝さわやか～

校長 名取 秀康

今年の6月は、本来の梅雨らしい天候となり、雨の滴る日や曇り空の日が多かったですね。心なしか、出勤時、ランニング中に見かける紫陽花も例年以上に元気なような気がしました。保護者の皆様、地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

本校では、5月、6月は生徒たちがとても頑張った期間でした。5月中旬に3年生の修学旅行があり、その翌週から運動会準備期間、5月30日(土)に運動会本番、6月第1週から定期考査、そして、第3週目には5組の岩井宿泊学習がありました。それぞれの行事において生徒たちは主体的に取り組み行事ごとに成長が感じられました。それらの成長は生徒各自が「キャリアパスポート」に記しております。保護者の皆様、機会があったら読んでみてください。

さて、稲付中学校では、昨年度、全学年で外部講師を招聘し、「マナー講座」を行いました。この講座は、「今後必要となるマナーの基礎(挨拶、表情、身だしなみ、言葉遣い、立居振舞い)を学び、対人スキルを身に付ける」という目的があります。その講演会での冒頭で講師の先生は、「人は見た目が大事」という話をされました。その根拠になるのが「メラビアン法則」です。これは、アメリカの心理学者アルバート・メラビアン氏(Albert Mehrabian)が1970年代に発表した研究に基づくもので、メラビアン氏は、人が他者から受け取る感情的なメッセージのうち、どの要素がもっとも影響を与えるかを実験的に検証しました。この検証によるとコミュニケーションにおいて言語情報(話の内容)が7%、聴覚情報(声のトーンや話し方)が38%、視覚情報(表情や態度)が55%の割合で影響を与えるそうです。いわゆる「7-38-55の法則」として知られているようです。(このマナー講座は今年度も行います)

私は毎朝昇降口付近で登校してくる生徒と挨拶を交わしています。また、休み時間等、廊下で生徒とすれ違う時は積極的に挨拶することを心掛けています。そのときに笑顔で挨拶をしてくれる生徒の多いことにいつもうれしい気持ちになります。そんな生徒たちの挨拶に触れると「メラニアン法則」を納得してしまいます。私たち教職員も生徒の皆さんに負けないよう、笑顔で明るい挨拶を大切にしていきます。

目指す学校は、「挨拶と感謝そして笑顔が溢れる学校」です。

<<7月の主な行事>>

2	木	5組進路講演会	13	月	生徒会朝礼
3	金	3年進路講演会⑤⑥	15	水	職員会議 避難訓練④
6	月	全校朝礼 正規時間割B(始) 専門委員会	16	木	大掃除 教育相談週間(始)
7	火	校内研修会 ⑥カット	17	金	全校集会 安全指導
8	水	非明協住民大会	21	火	夏季休業日(始)
9	木	中央委員会	22	水	補充教室(24日まで)
10	金	第1回進路説明会	31	金	教育相談週間終了

～第1回学校ファミリーの日～

6月10日(水)稲付中学校サブファミリー研究授業がありました。稲付中サブファミリーの研究テーマは「国際理解教育」です。地域にハイパフォーマンススポーツセンターがあり、そこでオリンピックや国際大会で活躍する日本のトップアスリートが練習やトレーニング、そして、合宿などを行っているからです。しかし、「国際理解教育」といっても幅が広いため「コミュニケーションの力育成」を中心におき「協働的な学習を活用した、コミュニケーション能力の育成」をテーマに研究を進めてまいります。西が丘、赤羽西地区の子どもは皆、素敵な挨拶が身に付いています。その良さをさらに伸ばし、相手の気持ちになって上手に話を聞く、上手に自分の気持ちを伝える、そして、誰とでも良好な関係が築ける力を伸ばせたらと思います。

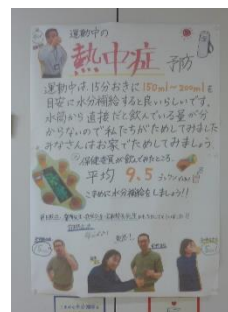
～避難訓練～(小中連携引渡訓練)

6月13日(土曜日)引渡訓練を行いました。北区では、震度5弱以上の地震が発生したときには生徒は学校で留め置き、保護者または保護者に代わる責任のある方に迎えに来てもらうことになっています。今回はそのための訓練でした。保護者の皆様、お忙しい中にもかかわらず、ご協力いただきありがとうございました。



～生徒会朝礼～(保健委員会の発表)～

6月22日(月)の生徒会朝礼では、保健委員会より熱中症の予防についての発表がありました。運動中は、15分ごとに150ml～200mlの水分補給が必要です。水筒ではどれくらいの量を飲んでいるかわからないので保健員会で検証しました。9～10回ごっくんと飲むと150ml～200mlになったようです。個人差があるのでぜひ、試してくださいとのことでした。



～5組リレー(生徒選抜チーム対教員選抜チーム)～

5組保健体育陸上競技の授業のまとめとして、5組選抜チーム対教員選抜チームのリレー対決を行いました。第1走者から5組チームがリードし、中盤で保健体育教員や男性若手教員で差を縮めるも教員チームの検討はここまで。最終的には半周差をつけて5組チームが圧勝しました。5組チームの応援が素晴らしく、走者もパワーをもらった様です。翌日の先生たちは大変でした。(笑)

